

# カトリック河原町教会だより

2015年4月

## 菅原友明司祭叙階式

感謝と喜びに満たされて 2015.3.7



3月7日(土)午後2時から河原町教会聖堂において、菅原友明助祭の司祭叙階式が執り行われました。叙階式には京都教区内のみならず、遠方からもたくさんの方々が駆けつけ、聖堂はいっぱいの参列者であふれました。厳かな叙階式は神の豊かな祝福に満たされ、京都教区司祭・菅原友明神父の誕生に会衆一同、感謝と喜びをもって祈りをささげました。



## 主の晩餐がなければ

2011年から4年間担当司祭としてお手伝いをさせていただきました。いくつかのことを取り上げて振り返ってみたいと思います。

「ミサ」：火曜日は夕方のミサ、そして主日のミサを司式させていただきました。特に、主日のミサは朝7時のミサを担当することが結構あったかなと思います。率直に申し上げればいつもより早起しなればならなかったわけですが、それでも皆さんの姿に励まされて準備をしていました。出勤前にミサに参加し、また寒い時もその姿勢は変わらない。また火曜日の夕方も会衆席を拝見し、「いつもお見えになっているな」と思いながら司式させていただいておりました。お仕事やお家の事もある中でも時間をつくりミサのために時間を割く、ミサを大切にされている皆さんとともに祈りの時を持てたということは嬉しいことでした。

アフリカの古代の教会の殉教者の言葉を思い起こします。「わたしたちは主の晩餐がなければ生きることができません」<sup>1</sup>

「レクティオ・ディヴィナ」：2013年から、この集会は始まりました。みことばを糧として味わうこの集い。少ない人数でもよいと思ひ、始めましたが、少しずつ参加者が増



## 京都教区司祭 鶴山進栄神父

え、今は10人以上になりました。みことばが人生において必要なこととされている方がいるという「しるし」であると思います。この集いに参加できる、できないにかかわらず、このように思う方が増えていくことを切に願っております。

「入門講座」：約2年間、神様やイエス様との出会いのお手伝いをさせていただきました。私にとってもCreativeな時間でした。入門講座を行うということは自分自身の信仰生活を見直すことにも繋がります。

「フィリポは宦官に洗礼を受けた。彼らが水の中から上がると、主の霊がフィリポを連れ去った。宦官はもはやフィリポの姿を見なかったが、喜びにあふれて旅を続けた」(使徒言行録8・38-39)。司祭は洗礼のためのお手伝いをするに過ぎません。皆さんが喜びにあふれて信仰の旅を続けることを願っています。

河原町教会におけるすべての出会いを書くことはできませんでしたが、他にも出会いがたくさんありました。4年間お世話になりました。ありがとうございます。

<sup>1</sup> ヨハネ・パウロ2世 使徒的書簡「主の日」No.47

## 鎌倉にて

京都教区司祭 菅原友明神父

3月7日の叙階式に際しまして、河原町教会の皆様、多くのお祈りをいただき、大変お世話になり心より感謝申し上げます。どうぞ、これからも、私が司祭職を誠実に果たしてゆくことができますようお祈りください。

叙階に先立つ2月、早春の鎌倉の凜とした空気に包まれながら、シルゴ神父様（イエズス会）のお導きのもと、8日間の黙想をさせていただきました。神父様は毎晩夕食後に面接指導をしてくださいましたが、最後の3日間の過ごし方として、「主のご受難の黙想」に1日、「ご復活の黙想」に1日、そして、「自分の過去を見つめること」に1日を当てることを提案してくださいました。

聖堂で、また鎌倉の自然の中で、ご受難とご復活を思い巡らす2日間を過ごし、最終日、思いつくままに自分の過去を見つめてみました。すると、私という存在も、命も、何もかも、他者を通して神様から与えられてきたのだということ、一方、私は誰にも何一つ与えたことも愛したこともなく、与えられたものに感謝することもなく、無い物ねだりばかりしてきたのだということ、そんなことがありありと見えてきて、たまらない思いになりました。

最後の面接のとき、神父様にそのことを告げると、神父様は私に「これから、司祭として、どうやって生きていきたいですか」と尋ねました。私は心が一杯でしたが、幸いそのとき電話が鳴って面接が途切れ、電話から戻った神父様は、「司祭は神様の道具です。パイプ役になるのが司祭です。司祭が素直になれば神と人はつながる。神様の妨げにならない素直なパイプ、素直な橋になりたいね」。そんなふうに語ってくださいました。



ご聖体を授ける菅原神父とセルジュ助祭  
(ヴィアトル会)

他者との出会いを通して、出来事を通して、神様は、私達ひとりひとりに、何もかも与え尽くしてくださいています。この恵みに素直に目が開けてゆく、そのような信仰の歩みを皆様と共に続けてゆけることをうれしく思っております。4月からは三重県で働くこととなりました。京都でのすべての出会いに感謝し、皆様のためにお祈りしております。

Happy Easter

主のご復活

おめでとうございます

2015年4月5日

## 2015年共同宣教司牧担当者

2015年4月6日付、京都南部地区洛東ブロックの担当司祭は以下の通りです。

一場 修 神父 (マリスト会)

J.モンロイ 神父

(グアダルペ宣教会)

キム・テジョン 神父

(済州教区)

## 神父様 ありがとうございます

◇花井拓夫神父から  
(洛北ブロックに赴任)



至らなかつた点多々ありました。ご容赦ください。私個人に対して種々のご支援をいただきました。感謝しております。

◇鶴山進栄神父から  
(山城ブロックに赴任)



冒頭の記事にも書かせていただきましたが、4年間のあいだに様々な出会いがありました。神様と皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。

- 加、ミニ巡礼には二十名が参加した。二月十一日実施の二十六聖人塚巡礼の参加者百五十名。大巡礼会は今回が最後で、今後は各地でミニ巡礼を行う予定。三月二十八日に京都キリシタン研究会と合同で「京都の大殉教記念巡礼会を実施の予定」⑥ブロック合同教育部会 次回は五月十日に開催予定
- 施設管理部  
三月八日に部会開催の予定  
広報部①新ウェブサイトのマイナーチェンジを進行中で、五月十日(世界広報の日)にアップロードの予定②高齢などの諸事情で教会に來られない信徒の方々に「教会だより」等の郵送活動を広げたい。
- 行事予定  
四ページの行事予定欄に記載
- 協議事項  
①三月七日の菅原友明司祭叙階式の役割分担とお祝いの贈呈を確認  
②聖週間・復活祭について  
聖週間の聖書朗読担当を確認した。復活祭懇親会の係担当を決めた。復活祭当日は英語ミサの実施を決定、担当司祭等に諮る。  
③福祉・渉外担当について  
後任の司祭団とさらに意見交換・協議をしていく。
- その他  
①聖体拝領前の注意文について  
先の教会総会において、変更の提案があった聖体拝領前アナウンスの文言については意見が多様のため、さらに検討する。  
②落ち着いたミサをささげるためにミサ中に歩き回る等、ミサの妨げになる行動をする人への対応を聖堂案内担当者で検討してほしい。評議会においても対応可能な良策を検討する。

## 「四旬節を希望のうちに歩む」

カルメル会  
黙想会指導／中川博道神父

2月21日(土)10時から山科教会  
で、洛東ブロック主催四旬節黙想会  
が行われました。〈以下要約〉

◆イエスは宣教の初めに「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」(マルコ1:15)とされました。「福音」とは、もともと「戦争の勝利の知らせ」で、実質的な生活を変える喜びの知らせでした。イエスに出会った人々はそのメッセージを、「福音」つまり、生活が実質的に変わり、希望をもって前向きに生きて行ける出来事として受け止めたのでした。

現代は「不安と恐れ」の時代であり、希望が見出せないと言われますが、果たしてそうでしょうか。ハーバード大学のピンカー氏によると、1600年代から現代までの人口比における殺人事件の件数は10分の1に減少し、集団虐殺も第二次世界大戦以降90%減少しているそうです。

一方、地球環境問題についても、宗教や倫理が人類の未来に果たす役割のいかに大きいかを訴える科学者たちが増えています。フランシスコ教皇は『福音の喜び』の中で、「不毛な悲観主義」(84)への警告を述べています。「信仰の目で見れば、聖霊が暗闇の中に光を放ち続けていることに気づき、希望が生まれてくるはずです。

◆カトリック教会は、キリストが存在しなかったら人類は確実に違う生き方になったはずだという確信を持っています。また「人間とはどういう存在であり、どういう使命をもって生きていくべきか」を常に問い直してきました。「回心」(メタノイア)とは、今までの自分の視点・考え方を改めて、確かな視点に改



め、神の呼びかけに応じて生きるということです。人類は近世以降ひたすら科学技術の進歩によって幸せになれると信じてきましたが、果たしてそうなったでしょうか。

復活への準備の始まりである「灰の水曜日」に、「あなたは塵であり、塵に帰る」と言われ頭に灰を受けます。それは「あなたは死にます。その時すべては塵に帰るのです」ということです。ある神父が言いました。「人生とは火葬場への待合室です。わたしたちは生前、どんな名声や財を持っていようと、心一つで神の前に出たとき、ただ一言『あなたは誰ですか?』と問われるでしょう。何が消え、何が残っていくのか、一体「自分とは誰であるのか」を見つめ、その答えを探していくことに、生きる者(復活)となっていくための見直しの一つの視点があります。

◆マタイ6:1~18には、真に生きる者となるための3つ「人生の見直しの課題」が示されています。

1.「施し」:隣人との関わりにおいて自分を分かち合う、削って与えることです。イエスはご自分のすべてを、惜しみなくわたしたちに与えてくださいました。わたしたちも自分の時間・労力・思い・言葉などを様々な形で人に与えることができます。ここには人々との関係性を生きることの見直しの勧めがあります。

2.「祈り」:私たちの心の深みの隠れたところにおられる御父を捜し続けることです。人生を根底から支えておられる「お方」に出会うための道が祈りです。イエスはいつも待っておられ、祈りによって真に神と出会った人は変えられます。ここには神との関係性を見直しの勧めがあります。

3.「断食」:わたしは日々何によって養われ、生かされているのか、それを見直すことに断食の意味があります。与えられる命・食物は神からの賜物ですが、わたしたちはほとんど自己中心的な独占欲の誘惑の中で、分配の滞る世界を作りがちです。地球上の穀物の年間総生産量は、世界人口72億人が十分食べることのできる量の2倍あるそうです。しかし、地球上の8億人余りの人がなお飢餓状態にあります。この現実を前に、世界の変革が求められます。ここには、大地・自然界・社会との関係性の具体的な見直しのテーマがあります。(教育部担当者)

河原町教会三月評議会報告要約

開催日 二〇一五年三月一日(日)

### ■司祭団の報告

河原町教会は信徒が多数在籍する大きな教会なので、刷新・変化には時間と労力が必要であったが、内においては信徒全員の協力態勢が進展し、外に対しては開かれた共同体となってきた。皆様の協力に感謝し、今後も後任の司祭団と協力し、開かれたよりよい教会運営を期待します。

### ■洛東ブロック四旬節黙想会の報告

(二月二十一日 山科教会で)

黙想指導はカルメル会の中川博道神父で総参加者は約八十名、河原町教会からの参加者は約十名であった。

### ■部会報告

典礼部①教区主催「ゆるしの秘跡と聖体顯示」が聖堂で三月十四(土)午後五時から六時半に実施される。  
②日曜日午後の受付担当について、女性一名の現状体制の見直しを早急に行う。  
教育部①土曜学校三月七日は叙階式のため休み。終業式・三月十四日。②中高生会終業式・三月十五日。三月二十九日に桃山教会で一場神父指導により、洛東ブロック中高生一日錬成会を実施する予定③エリの集い五月十日(日)十時半ミサ後、バザー開催④ザビエル訪れ会「市民クリスマス」アンケート回答者のうち、一月中旬に二十三軒の訪問を完了した。三月中旬に残り三〇軒の訪問を予定している。アンケート回答者に復活祭ミサと懇親会案内葉書を発送の予定。一般の人を復活祭懇親会に招くため教会入り口に案内の幟(のぼり)を作製する。⑤キリシタン研究会二月一日実施の二十六聖人記念ミサには百五十人以上が参

## ◆ 2015年4月・5月の行事予定 ◆

(5月は予定です。変更の場合があります)

月	日	曜	行 事 予 定
4	1	水	聖香油ミサ 11:00
	2	木	《聖木曜日》主の晩餐の夕べのミサ 19:00
	3	金	《聖金曜日》主の受難 19:00 (大斎・小斎) 聖地のための献金
	4	土	《聖土曜日》(大安息日)《復活の主日》復活の聖なる徹夜祭 19:00
	5	日	《復活の主日》日中のミサ 7:00/10:30・英語ミサ 14:00 パーティー 10:30 ミサ後
	12	日	《神のいつくしみの主日》子ども初聖体ミサ 10:30 ミサ後パーティー
	18	土	パチオノ ウイリアム・セルジュ助祭(ヴィアートル会)司祭叙階式 14:00
	19	日	村上真理雄神父 司祭叙階 60周年感謝ミサ 10:30 教区新信者のミサ 14:00
	25	土	洛東ブロック会議(桃山教会) 14:00
26	日	復活節第4主日 世界召命祈願の日	
5	3	日	復活節第5主日 評議会5月例会 10:30 ミサ後
	10	日	復活節第6主日 エリの集いバザー 10:30 ミサ後 世界広報の日
	17	日	《主の昇天》衣笠墓地清掃
	24	日	《聖霊降臨の主日》 南部地区合同堅信式 14:00
	31	日	《三位一体の主日》 教会美化デー

## 村上真理雄神父 司祭叙階 60周年記念ミサ

4月19日(日) 10:30 大塚司教司式

ヨゼフ マリア 村上真理雄神父 (1929年4月13日生) は  
1955年3月21日に司祭叙階され、今年60周年を迎えられます。

“感謝のうちにミサをささげましょう“



菅原神父様 おめでとうございます



## ◆ 広報部から「河原町教会だより」郵送のお知らせ

毎月発行の「教会だより」を様々な事情で受け取りにくい方は、教会事務室までお申し出ください。また、お知り合いの方へ郵送を希望の場合も、遠慮なくお知らせください。広報部から毎月お手元に郵送させていただきます。

## ◆ 訂正 3月号3ページのぶどうの会新年会の写真説明でアコースティックギター演奏者の氏名は正しくは「ゆあさまやさん」でした。訂正してお詫びいたします。

## 河原町教会 ミサの時間

## 日曜日(主日のミサ)

7:00

10:30

12:00 (英語 第2・4)

月曜日 6:30

火曜日 6:30 18:30

水曜日 6:30 18:30

木曜日 6:30

金曜日 6:30 18:30

土曜日 6:30

18:30 (主日のミサ)

## 信仰の学びのお知らせ

## ◇信仰入門講座◇

(1F 集会室)

水曜日 10:00 村上 真理雄神父

金曜日 19:15 村上 透磨神父

※4月6日付の司祭移動により、以下の通り変更となります。

- ・花井神父講座 中止
  - ・鶴山神父個人講座 中止
  - ・一場神父/火曜日19:15 しばらく休会
- 入門講座の新しい日程・担当者は決まり次第お知らせします。

## ◇信徒養成講座◇

(1F 集会室)

北村 善朗神父「祈りを学ぶ」

4月16日(木) 14:00

5月14日(木) 14:00

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

## ◇聖書通読会◇

(1F 集会室)

毎週金曜日 14:30~16:00

- ◆ 聖書をグループで輪読しながら全巻を読む集いです。3月13日から新約聖書に入りました。

## ◇レクチオ・ディヴィナ◇

(都の聖母小聖堂)

毎月第3火曜日 10:30

- ◆ 参加ご希望の方は、事務室までお申し込みください。

10:00からのミサについては未定です。

カトリック河原町教会だより 2015.4

発行: カトリック河原町教会

担当司祭: 花井 拓夫

編集: カトリック河原町教会 広報部

住所: 〒604-8006 京都市中京区河原町通三条上る下丸屋町423

電話: 075-231-4785

ファックス: 075-211-8021

URL: <http://kawaramachi3.com>